



発行所 東大阪新聞社 第7016号 577-0802 東大阪市小阪本町1-7 エフエスビル2F TEL 06-6720-4601 FAX 06-6720-4603

東大阪・八尾 柏原の地域紙

おかげさまで90年 東大阪新聞は令和4年に 創刊90年を迎えます

株式会社 MIMA 好評



株式会社MIMAが発行 mimarcheを持つ美馬功之介社長(左)と美馬多恵子編集長

ネットの情報もいろいろ、紙媒体の情報には温かみがあり、眺めているだけでほっこりした気持ちになる。

地域愛詰まったフリーマガジン mimarche

地域愛が詰まったフリーマガジン mimarche(ミマルシェ)が話題になっている。発行するのは「超地域密着型」を掲げる株式会社MIMA(八尾市山本町3-11)だ。B5判20頁中綴りフルカラー、年4回各3千部発行。創刊は2019年12月。最新号は4月に発行された第6号(春号)で、特集は「地域の交流、コミュニティ」。紅茶専門店「フェーズ」の夢じかん八尾市山本町1-9-410211が取り上げられている。本誌は手作り感があ...

本誌の後半では「オム」や不動産のアドバースが具体的に紹介されており、タマになる。また、株式会社MIMAの社員紹介欄があり、読んでいて同じ社が身近に感じられて喜ぶ。 巻末には提携店のクーポンが付いている。例えば、パティスリーイグレットオカワ(八尾市山本町1-9-9)のクーポンを使うと、10%の割引がある。 クラウドファンディングで支援募る 豚魚酒菜処 和顔施 とんかつ専門店と1人じゃぶじゃぶ専門店へ

豚魚酒菜処 和顔施 代表 中野順一 東大阪市足代新町4-12 TEL 06-7504-8056

株式会社ユタカ 検査選別プロ集団

1968年(昭和43年)に初代社長安田憲司(70)は、創業の精神を継いでいる。現在は、検査選別プロ集団として、検査選別を手がけている。 2002年に経産省「創造技術開発補助金交付事業」を受け、京都大学大学院工学部と連携し、検査選別装置を開発した。 2004年には「ナノ分野電子部品検査装置」を開発し、検査選別装置を開発した。 2004年には「ナノ分野電子部品検査装置」を開発し、検査選別装置を開発した。

株式会社ユタカ 社長 安田憲司 東大阪市新町24-12 TEL 072-984-6246

株式会社 藤原電子工業 代表取締役 藤原 中啓司

株式会社 摂津金属工業所 代表取締役 田中啓司

株式会社 カナオ力機材 代表取締役 七里和昭

晴耕雨読 このところワクチンで挨拶が始まる。「もう済んだ」「全然痛くない」「安心だの声。しかし、安心はまだ早い。このパンデミックはいつ終わるのだろうか。感染者や死者が少なくない。収束とそれがゼロになる「終息」がある。まずは収束だ。 新型コロナウイルスの収束にはワクチンが有効。イスラエルや英国、米国などで1回目接種者の割合が人口の4割前後に達すると感染者数は減少するといわれている。 5月31日、ワクチン接種は戦後初の国家プロジェクトだ。自衛隊の東京1日1万人、大阪5千人の大規模接種センターに続いて、大阪市のインテックス大阪会場のように大規模会場が各地で開設され、6月21日からは企業や大学も加わる。 企業の社会的責任として地域住民を対象にする会社もあり、喜ばしいことだ。急速に人口比4割ラインは7月中旬か、かつワクチン先進国だったB型肝炎訴訟にこりて生産を停止した。現在、大阪大学とインテックス株式会社の「大阪ワクチン」が国の支援を受け治験を進めている。国は安全保障面からワクチンや治療薬の自給自足体制を政策面で後押しすべし。 ワクチン外交ともワクチン戦争ともいわれる。世界は「戦時」

最後の街頭紙芝居師である者が、卒寿を機に出発。日本民族の魂である街頭紙芝居の真髄を書き残しておかばならないと自身の力を振り絞って書き下した一冊「ザ・カミヤ」を併せて読むと、街頭紙芝居の世界が深く理解できる。 全国主要書店で発売中 大阪電気保安協同組合 八尾市山本町3丁目21-17 TEL 072-921-9499 FAX 072-921-9499 (担当:大塚)

街頭紙芝居道 杉浦貞 B6判95頁並製本 定価1,100円(税込) 二重印刷出版 (TEL 072-926-5134)

八尾自動車教習所 八尾市高安町南七丁目二十一番地 TEL 072-921-2343 HP: http://www.yaokyo.net/

2021年 世界の動き 大阪商業大学総合経営学部教授 経済学博士 中津孝司

脱炭素 グリーン成長戦略へ

脱炭素 グリーン成長戦略へ 自動車業界では電気自動車(EV)への切り替えが急務とされている。しかし、EVの普及には充電インフラの整備が不可欠である。また、EVの生産にはレアメタルなどの資源が必要となる。 再生可能エネルギーの活用も重要である。太陽光発電や風力発電は、CO2排出量を削減するための有効な手段である。 政府は、EVの普及と再生可能エネルギーの活用を促進するために、様々な施策を実施している。 企業も、EVの普及と再生可能エネルギーの活用を促進するために、様々な施策を実施している。

町工場を訪ねて 株式会社ユタカ 検査選別プロ集団

株式会社ユタカ 検査選別プロ集団

明日から使える接遇セミナー 同業他社より一歩先ゆくおもてなしのコツとは

認知症予防に最適 不要不急の外出移動自粛のコロナ禍は 今人気の卓上ゴルフ盤を使って おうちで遊ばしよ

四国88カ所霊場の お砂さすり場・踏み場





